



**ASAHI**

**INTECC**

Your dreams. Woven together.

# 2008年6月期 中間決算説明会

---

2008年2月18日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



## 目 次

**1 . 2008年6月期(中間)決算の概要**

**2 . 2008年6月期(通期)業績見通し**

**3 . 業績下方修正の要因・背景について**

**ご参考:会社概要・事業の特徴**



**1. 2008年6月期(中間)決算の概要**

**2. 2008年6月期(通期)業績見通し**

**3. 業績下方修正の要因・背景について**

**ご参考: 会社概要・事業の特徴**



## 2008年6月期(中間)決算のポイント(連結)

- 売上高は6,086百万円(前年同期比10.1%増)と堅調に推移
  - 全セグメント(メディカル、メディカルデバイス、インダストリアルデバイス)で増収
  
- 医療機器分野を中心とした売上原価の増加を主因に大幅な減益
  - 営業利益は660百万円(前年同期比40.4%減)
    - ▶ 営業利益率は前年同期比9.3ポイント低下(売上総利益率は同9.2ポイント低下)
    - ▶ 販管費は人件費及び販促費を中心に若干増加するが当初計画の範囲内
  
  - 経常利益は653百万円(前年同期比44.3%減)
  
  - 中間(当期)純利益は240百万円(前年同期比61.2%減)
    - ▶ 退職給付債務の算定方法変更(簡便法→原則法)により差額165百万円を特損計上
  
- 今期業績計画を下方修正
  - 今期(2008年6月期)の売上高は前期比3.5%増、営業利益は同38.2%減の見通し
    - ▶ 下期以降の Abbott社との取引減少を見越した減産に伴う利益率の低下を見込む



## 中間決算ハイライト(連結)

	2007年6月期中間実績		2008年6月期中間実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2007/8/10	修正計画 2008/2/1	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		期初計画比
							増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	5,527	100.0	6,168	6,080	6,086	100.0	+559	+10.1	△1.3
売上総利益	3,303	59.8	-	-	3,082	50.6	△221	△6.7	-
営業利益	1,108	20.1	1,020	650	660	10.8	△448	△40.4	△35.3
経常利益	1,173	21.3	977	650	653	10.7	△519	△44.3	△33.1
中間 (当期)純利益	620	11.2	521	240	240	4.0	△379	△61.2	△53.8
EPS	39.12 円	-	32.90 円	15.17 円	15.18 円	-	-	-	-



## セグメント別売上高

	2007年6月期 中間実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	3,325	60.2	3,664	60.2	+338	+10.2
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	1,000	18.1	1,113	18.3	+113	+11.3
<医療機器分野>	4,325	78.3	4,777	78.5	+452	+10.5
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	1,201	21.7	1,309	21.5	+107	+8.9
合計	5,527	100.0	6,086	100.0	+559	+10.1



## セグメント別営業利益

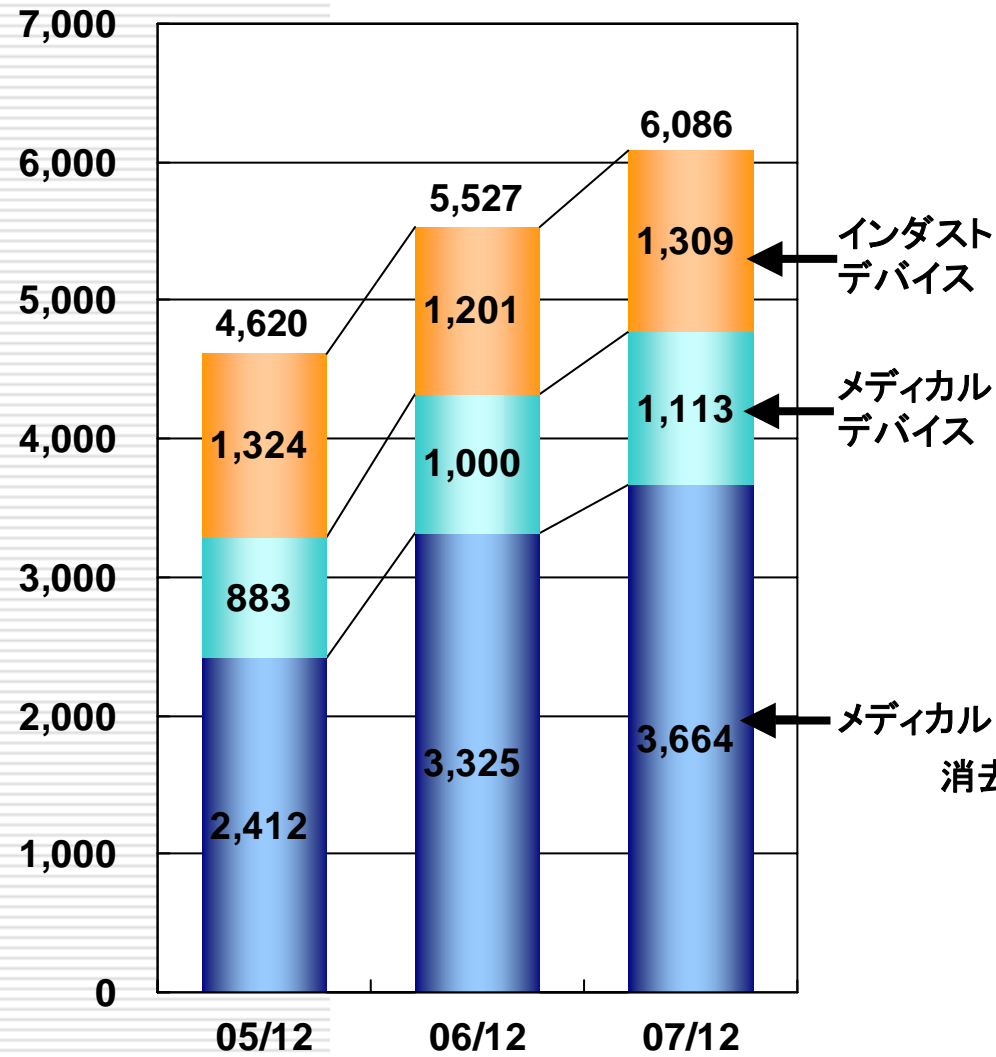
	2007年6月期 中間実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	1,141	70.0	854	69.5	△287	△25.2
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	276	16.9	149	12.2	△126	△45.7
<医療機器分野>	1,417	86.9	1,003	81.7	△413	△29.2
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	214	13.1	225	18.3	+11	+ 5.3
計	1,632	100.0	1,229	100.0	△402	△24.7
消去・全社	△523	-	△569	-	-	-
合計	1,108	-	660	-	△448	△ 40.4



# セグメント別の収益状況

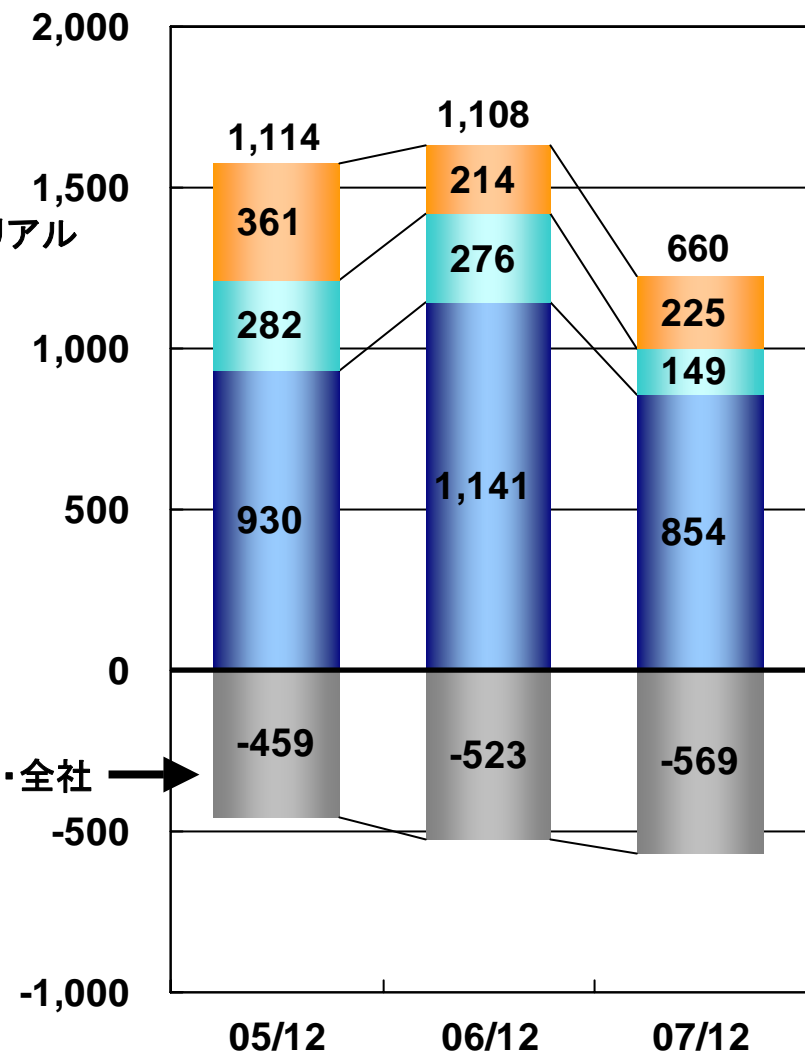
(百万円)

【売上高】



(百万円)

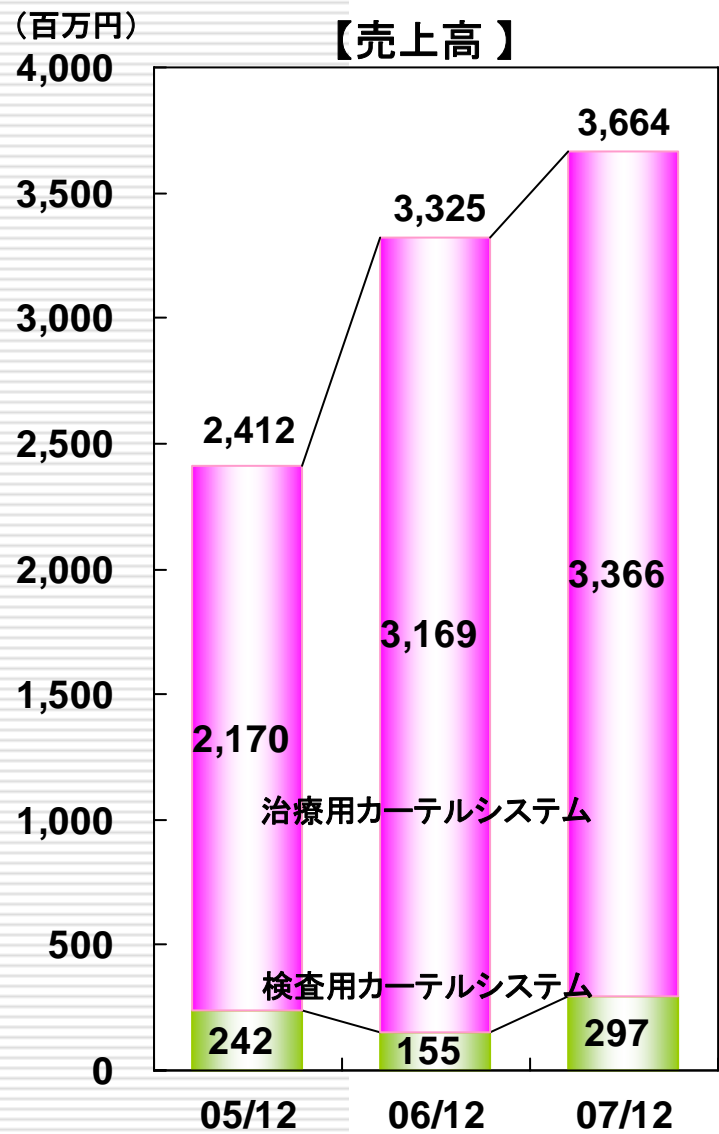
【営業利益】







## メディカル事業の状況



■ 治療用・検査用ともに売上は増加するも、想定以上に売上原価が膨らんだことにより減益

□ 売上高3,664百万円(前年同期比10.2%増)

□ 営業利益854百万円(同25.2%減)

- ▶ タイバーツ高による製造経費の増加
- ▶ 新工場立ち上げに伴う諸経費の増加
- ▶ プラチナ価格の高騰
- ▶ アボット社向け製品の生産調整の影響

■ 治療用カテーテルシステム

□ 3,366百万円(前年同期比196百万円増、同6.2%増)

□ ガイディングカテーテルは前年同期比143.6%増

- ▶ 代理店への初期出荷に伴い取引が増加

■ 検査用カテーテルシステム

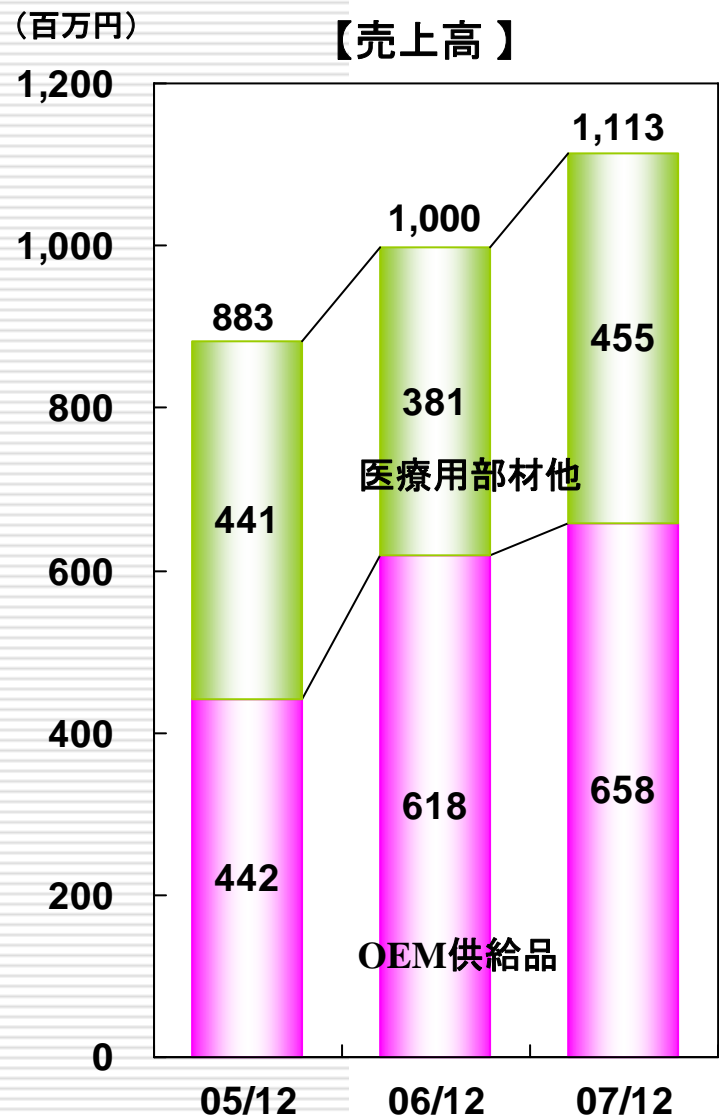
□ 297百万円(前年同期比141百万円増、同91.2%増)

□ 競合品との競争激化の影響を受けたものの増収確保

- ▶ CAGカテーテル等の国内売上が増加



## メディカルデバイス事業の状況



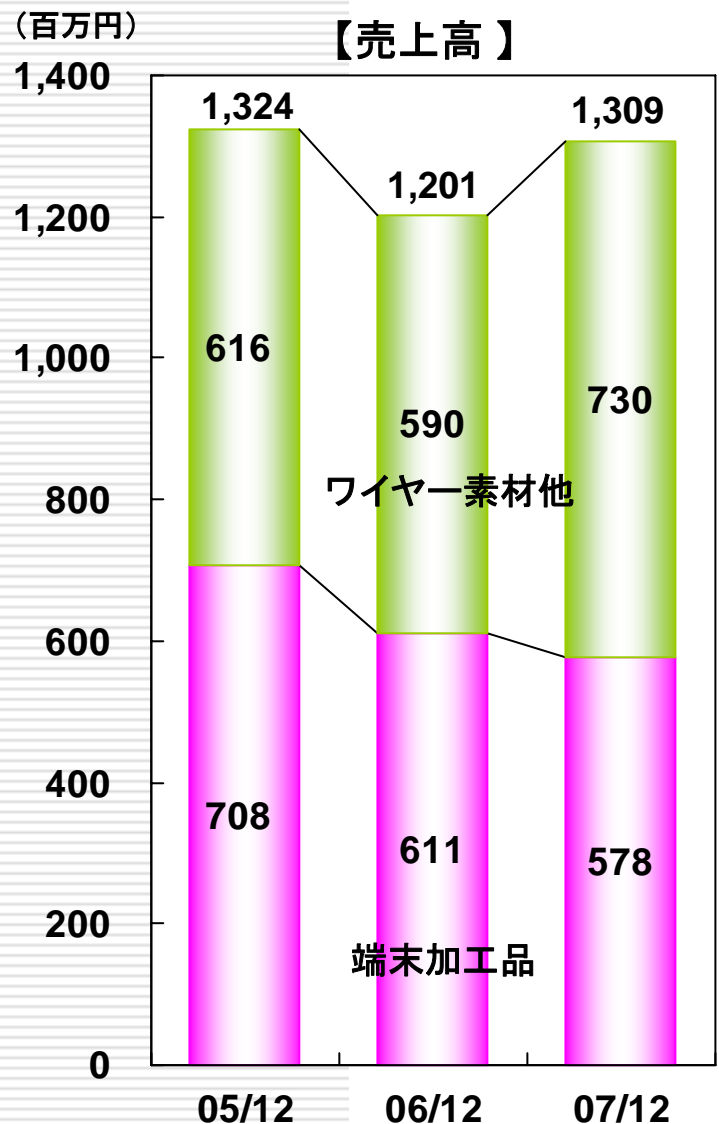
- 医療部材・OEM供給品ともに増収を維持するも、メディカル同様に製造経費の増加により大幅な減益
  - 売上高1,113百万円(前年同期比11.3%増)
  - 営業利益149百万円(同45.7%減)

- 医療用部材
  - 455百万円(前年同期比74百万円増、同19.4%増)
    - ▶ 米国市場向け心臓検査用医療機器部材の受注増加

- OEM供給品
  - 658百万円(前年同期比39百万円増、同6.4%増)
  - 国内医療機器メーカー向けOEM供給品が堅調
    - ▶ 中心静脈用ガイドワイヤー、脳動脈瘤用の医療部材が増加
  - 下期予定の腹部用ガイドワイヤーのOEM取引は中止
    - ▶ Johnson & Johnsonの方針変更に伴い、脳血管系製品に対するOEM取引を前倒しする方向



# インダストリアルデバイス事業の状況



- 高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力
- ステンレス鋼材価格高騰など厳しい事業環境のなか前年同期比で増収・増益
  - 売上高1,309百万円(前年同期比8.9%増)
  - 営業利益225百万円(同5.3%増)

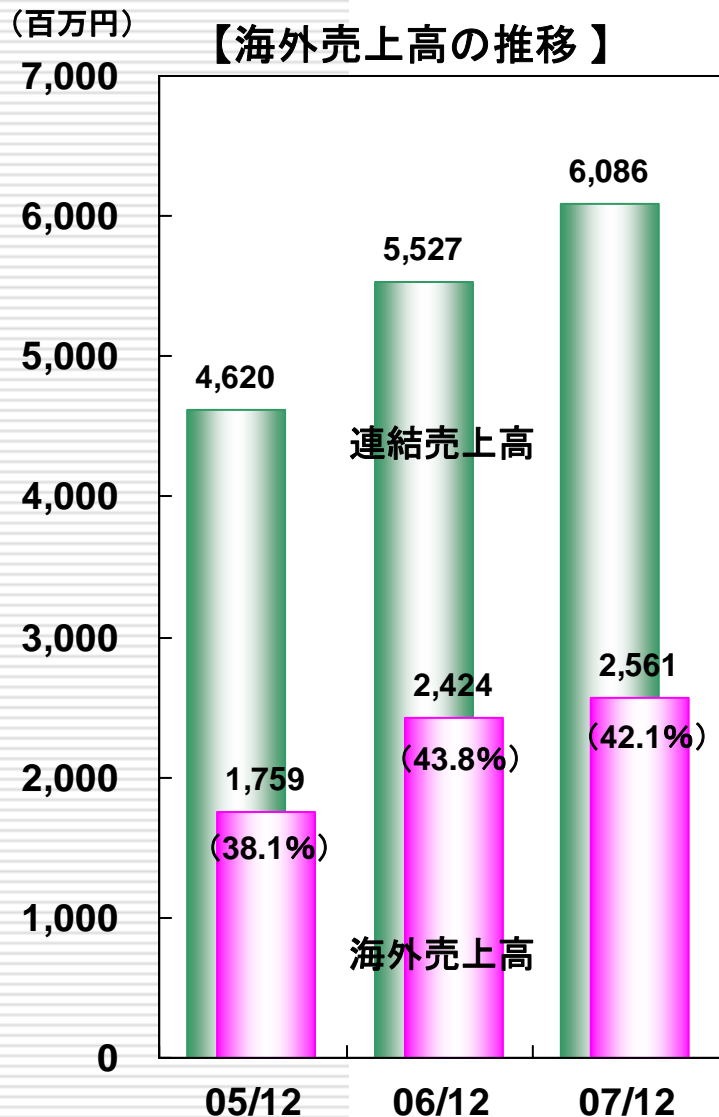
- ワイヤー素材
  - 730百万円(前年同期比140百万円増、同23.8%増)
  - 下記製品を中心に取引が増加
    - ▶ 海外大手OA機器企業向け印刷機用放電タングステンワイヤー
    - ▶ 国内企業向け製紙機械用特殊線材
    - ▶ 自動車排気ガス浄化装置製造関連製品

- 端末加工品
  - 578百万円(前年同期比33百万円減、同5.4%減)
  - OA機器関連製品全般の取引が減少
    - ▶ OA機器複合化などに伴う部品市場価格の下落



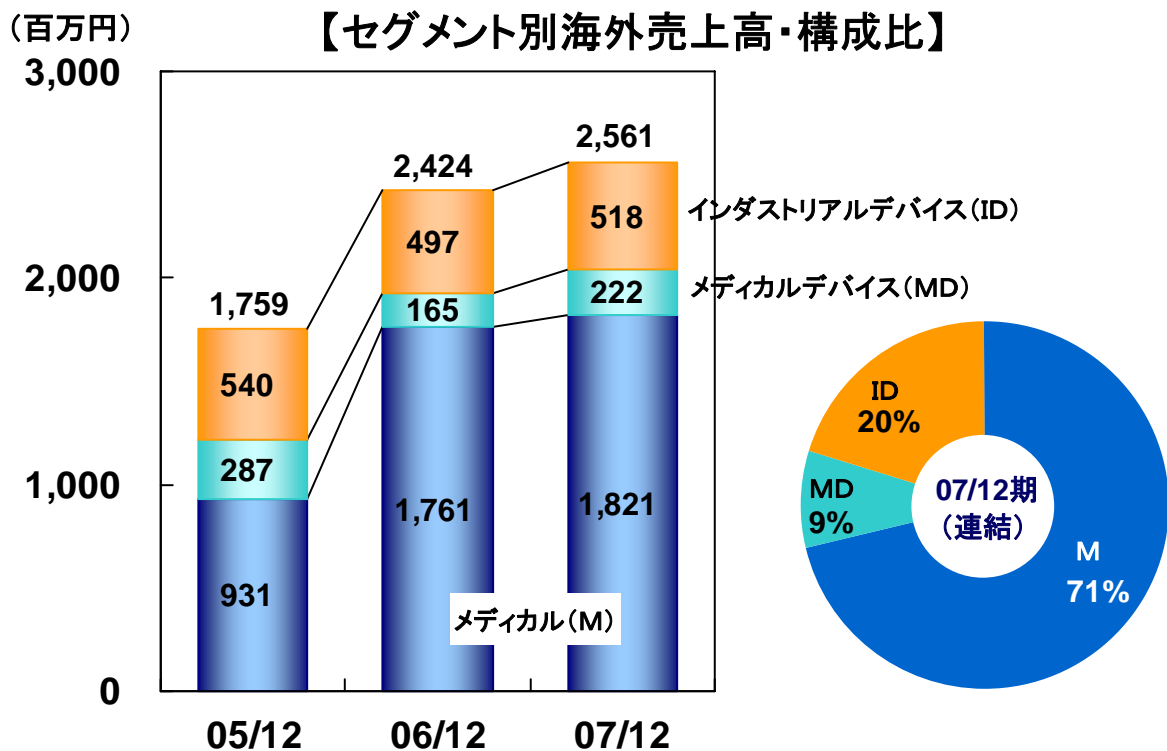
# 海外売上高の状況

【海外売上高の推移】



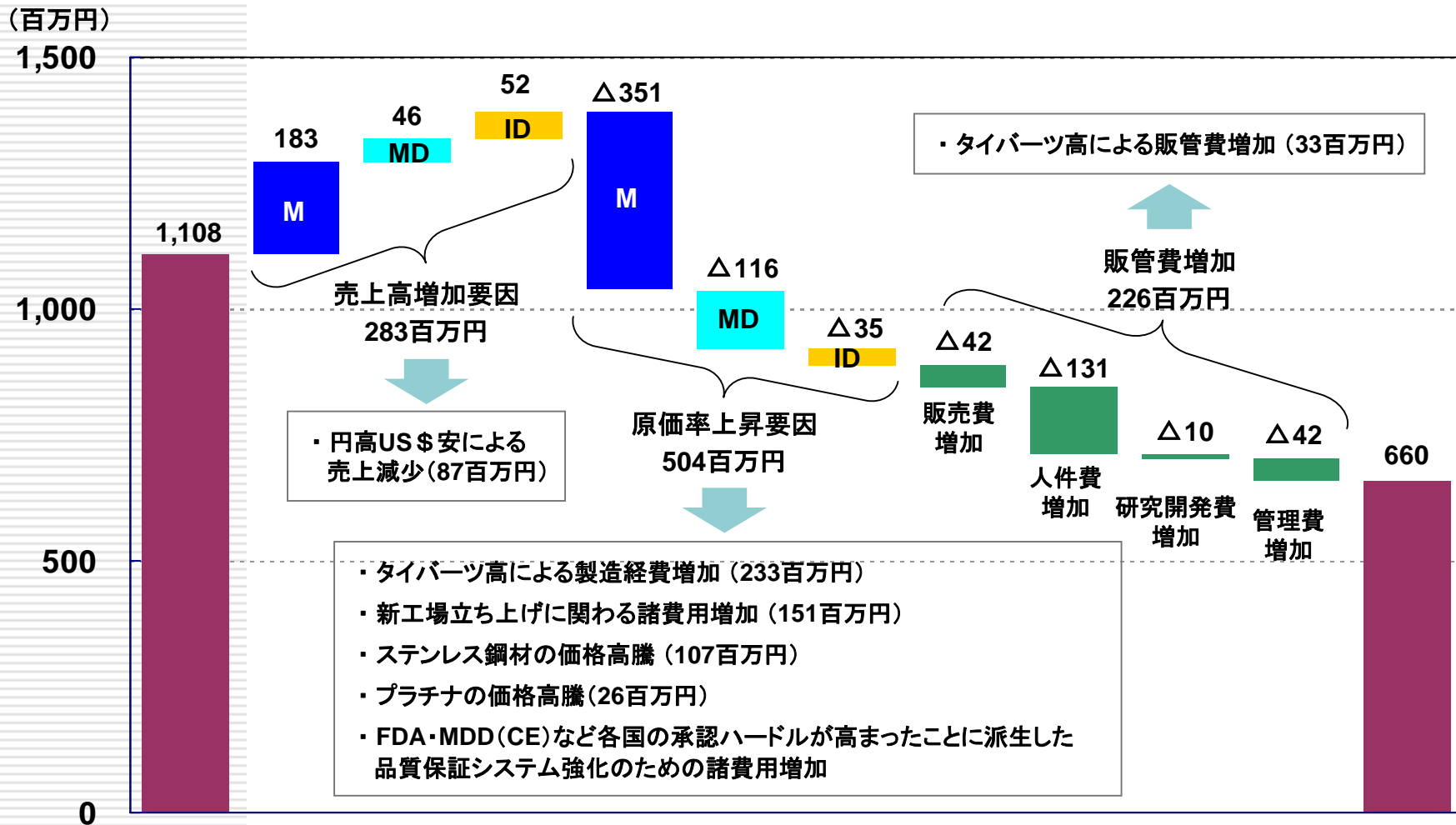
- 海外売上高は137百万円増加(前期比5.7%増)
  - ▶ 北米・アジア地域順調なるも  
アボット社との契約改定に伴う直販エリア縮小等につき  
欧州地域が減少
- 海外売上比率は42%

【セグメント別海外売上高・構成比】





# 営業利益増減要因分析



06/12  
営業利益

07/12  
営業利益



## 損益の状況(連結)

	2007年6月期 中間実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	5,527	100.0	6,086	100.0	+559	医療機器分野の増収 +452
売上原価	2,223	40.2	3,004	49.4	+780	製造経費増加、原材料価格高騰 等
売上総利益	3,303	59.8	3,082	50.6	△221	同上
販管費	2,195	39.7	2,422	39.8	+226	販促費・人件費の増加 +173
営業利益	1,108	20.1	660	10.8	△448	
営業外収益	86	1.6	47	0.8	△38	為替差益の減少 △62
営業外費用	21	0.6	54	0.9	+33	支払利息の増加 +30
経常利益	1,173	21.3	653	10.7	△519	
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	
特別損失	52	1.0	170	2.8	+117	退職給付費用の増加 +165
中間純利益	620	11.2	240	4.0	△379	



## 財務の状況(連結)

	2007年6月期 期末実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	9,221	51.0	10,229	49.3	+1,007	現預金の減少 △496 棚卸資産の増加 +1,315
固定資産	8,868	49.0	10,531	50.7	+1,662	有形固定資産の増加 +682 投資有価証券の増加 +913
資産合計	18,090	100.0	20,760	100.0	+2,669	
流動負債	3,266	18.1	3,946	19.0	+680	短期借入金の増加 +662
固定負債	2,978	16.4	4,084	19.7	+1,105	長期借入金の増加 +900
負債合計	6,244	34.5	8,030	38.7	+1,786	
純資産合計	11,846	65.5	12,729	61.3	+882	利益剰余金の増加 +501
負債・純資産合計	18,090	100.0	20,760	100.0	+2,669	



## 中間連結キャッシュ・フローの状況

(百万円)

5,000

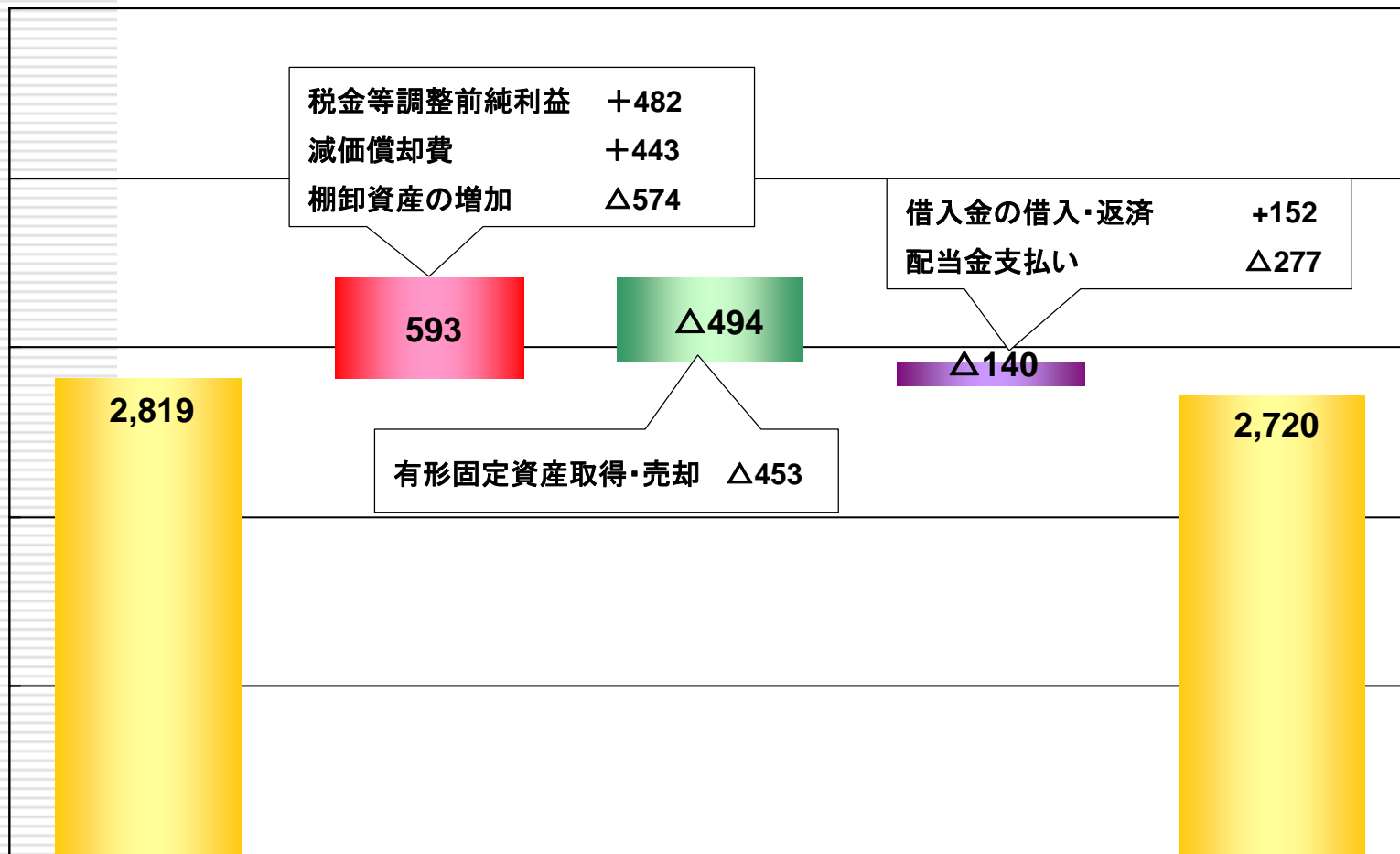
4,000

3,000

2,000

1,000

0



07/6期末  
現金(同等物)残高

営業活動

投資活動

財務活動

07/12期末  
現金(同等物)残高





## ご参考：中間決算ハイライト(単体)

	2007年6月期 中間実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,468	100.0	5,744	100.0	+276	+5.1
売上総利益	2,598	47.5	2,352	40.9	△246	△9.5
営業利益	783	14.3	402	7.0	△381	△48.6
経常利益	892	16.3	303	5.3	△588	△66.0
中間 (当期)純利益	550	10.1	88	1.5	△462	△84.0
総資産	17,037	100.0	18,661	100.0	+1,623	+9.5
純資産	10,620	62.3	10,856	58.2	+235	+2.2



**1. 2008年6月期(中間)決算の概要**

**2. 2008年6月期(通期)業績見通し**

**3. 業績下方修正の要因・背景について**

**ご参考: 会社概要・事業の特徴**

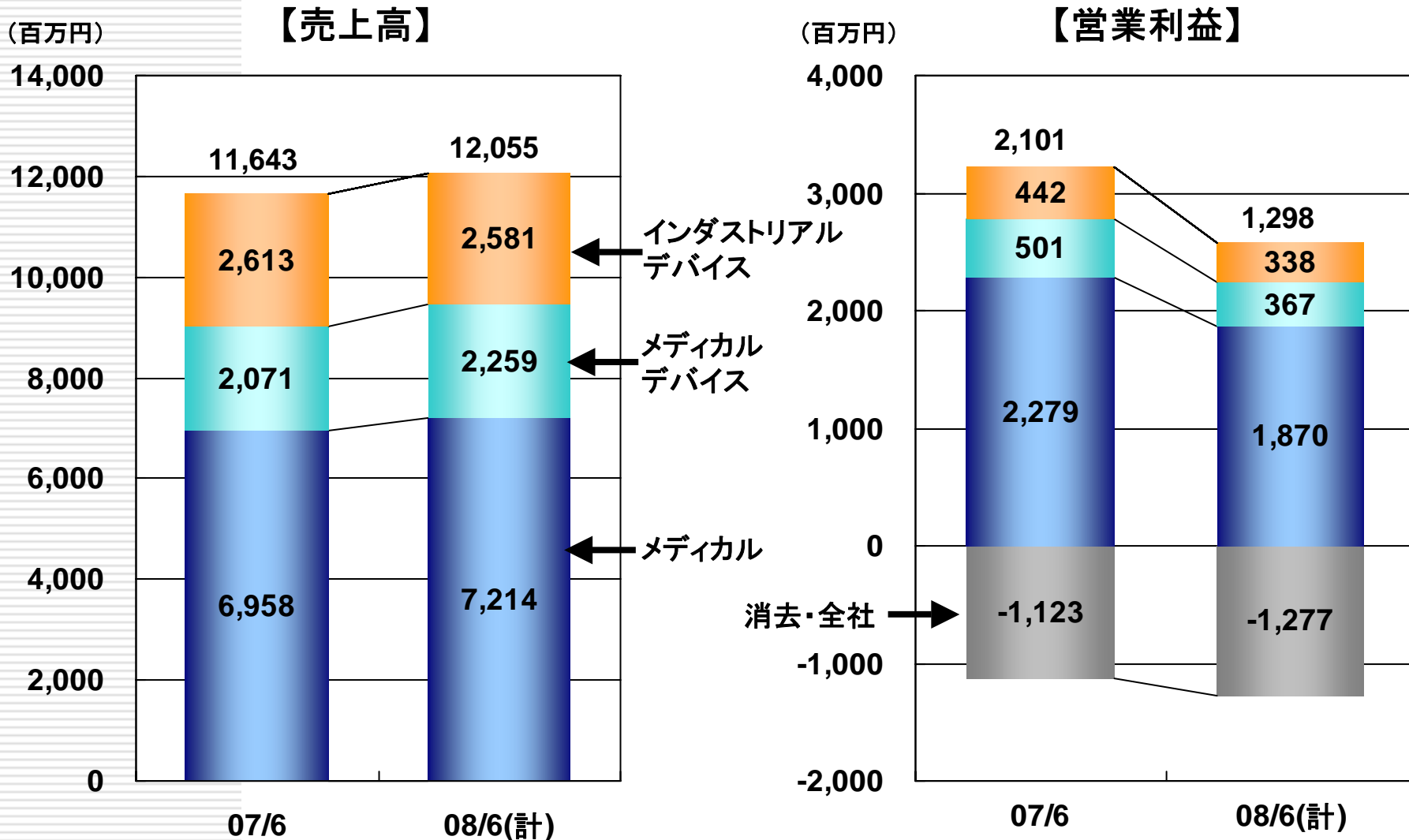


## 2008年6月期業績見通し(連結)

	2007年6月期(実績)		2008年6月期(計画)					
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2007/8/10	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		期初計画比
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	11,643	100.0	13,450	12,055	100.0	+411	+3.5	△10.4
売上総利益	6,643	57.1	8,024	6,280	52.1	△363	△5.5	△21.7
営業利益	2,101	18.1	2,855	1,298	10.8	△803	△38.2	△54.5
経常利益	2,202	18.9	2,773	1,258	10.4	△944	△42.9	△54.6
当期純利益	1,158	10.0	1,587	769	6.4	△389	△33.6	△51.5
EPS	73.10 円	-	100.14 円	48.55 円	-			-



# セグメント別の収益見通し





**1. 2008年6月期(中間)決算の概要**

**2. 2008年6月期(通期)業績見通し**

**3. 業績下方修正の要因・背景について**

**ご参考: 会社概要・事業の特徴**



## 2008年6月期(下期)業績見通し

	下期 期初計画		下期 修正計画			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,282	100.0	5,975	100.0	△1,306	△17.9
メディカル	4,631	63.6	3,552	59.5	△1,078	△23.3
メディカルデバイス	1,252	17.2	1,148	19.2	△103	△8.3
インダストリアルデバイス	1,398	19.2	1,274	21.3	△123	△8.9
営業利益	1,835	25.2	648	10.9	△1,187	△64.7
メディカル	1,872	-	1,019	-	△852	△45.5
メディカルデバイス	381	-	219	-	△161	△42.4
インダストリアルデバイス	288	-	115	-	△173	△60.1
消去・全社	△706	-	△706	-	-	-



## 通期(下期)業績下方修正の要因について

～アボット社との取引減少に伴う売上減少及び売上総利益率の低下が主因～

### ■ メディカル事業

□ アボット社との2008年度取引本数減少を見越した売上の修正 及び  
それに伴う利益率の低下

□ 為替動向の変化(円高US\$安)に伴う売上の減少

### ■ メディカルデバイス事業

□ Johnson & Johnsonの方針変更に伴い、腹部用ガイドワイヤーOEM取引中止  
脳血管系製品に対するOEM取引を前倒しする方向

### ■ インダストリアルデバイス事業

□ 主要製造業の景気悪化などに伴いOA機器製品を始めとした取引全体が減少



# アボット社との取引本数の見直し協議について

## ■ 現状の契約内容

- PTCAガイドワイヤーの米国・欧州等における販売代理店契約（～2011年12月）
- 年間最低取引本数を設定（年率8%の市場拡大を前提に2010年の段階で米国市場において30%のシェアを獲得することを想定して年間取引本数を設定）
- 最低取引本数に満たない場合には、その利益相当分をアボット社が補填する条項を含む

## ■ 協議開始の経緯

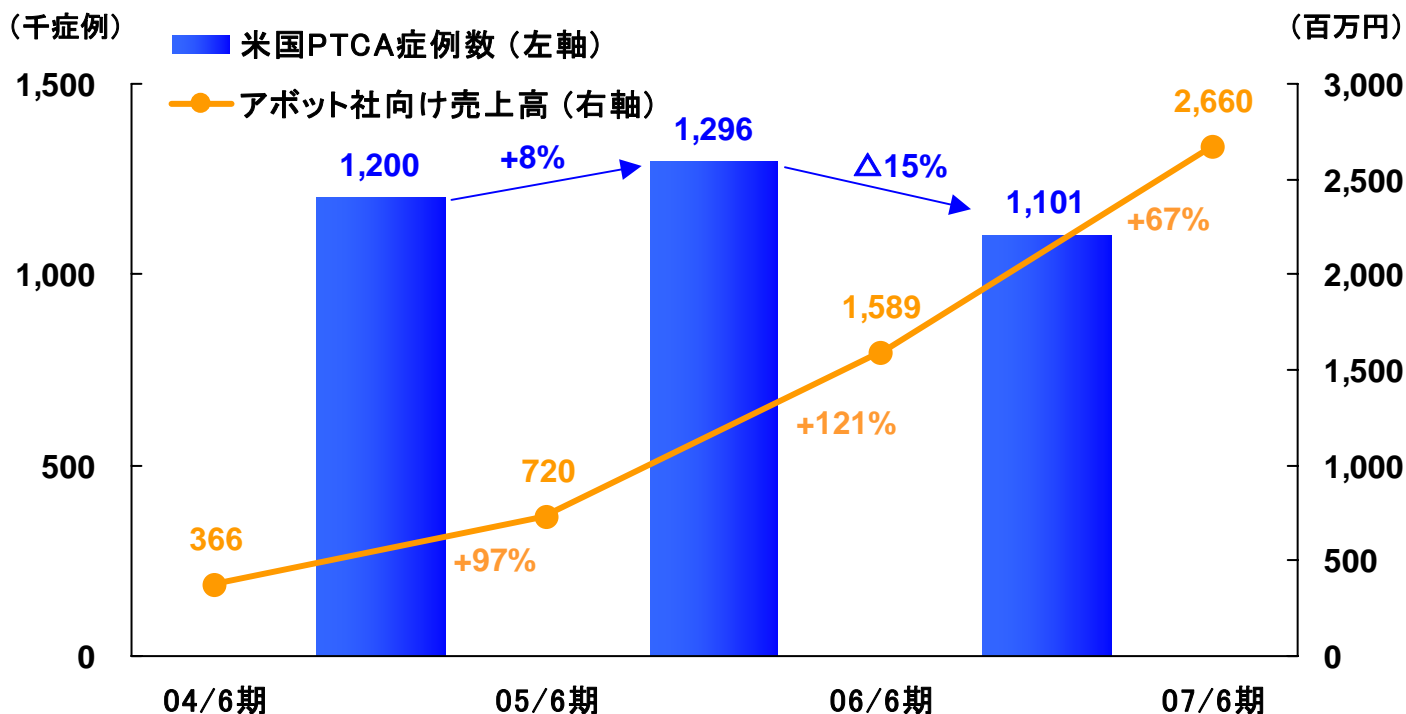
- 2006年度にPTCA治療に使用する薬剤ステントの安全性懸念が発生したことから薬剤ステント市場が大きく縮小、これがPTCA市場全体に波及
- 2007年度のPTCA治療件数は増加から一転して減少（米国を中心に10%～15%の減少）
- その間、アボット社は最低取引本数を上回って当社製品を購入しており、当社PTCAガイドワイヤーの米国市場シェア（出荷ベース）は約7%上昇（06/6期：約16%→07/6期：約23%）
- こうした急激な環境変化に伴い同社からの2008年度の取引数改定の申し出を受け、今回の協議に至る（アボット社の在庫増加が要因と推測される）





## アボット社との取引本数の見直し協議について

### ■ 「アボット社向け売上高」と「PTCAガイドワイヤーの症例数」の推移



### ■ 協議内容

- 2008年(1月～12月)単年の取引の見直しを交渉中  
(2009年以降については交渉の俎上に上がっていない)



## 当社の基本スタンス

### ■ PTCA市場の回復を見据えて短期的な利益追求よりも、中長期的な成長戦略を重視

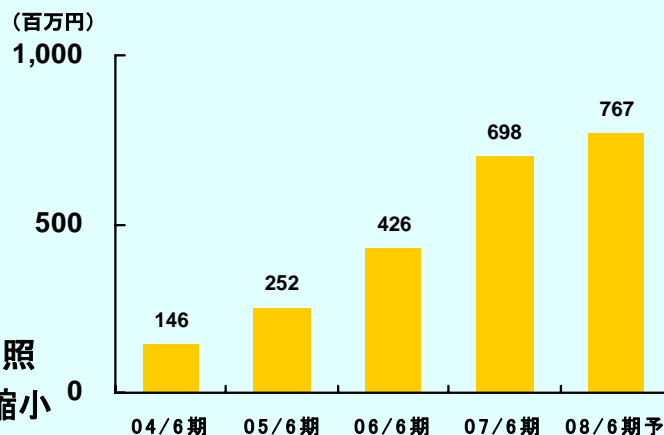
#### □ PTCA市場は短期的な調整局面にあるが、中長期的な拡大トレンドには変化がないこと

- ▶ 患者の肉体的負担が大きいバイパス手術よりも低侵襲のPTCA治療が選択される
- ▶ 世界各国でPTCA治療経験を積んだ医師の裾野が拡大
- ▶ 薬剤ステントの優位性に係る臨床データの発表等によりLST(慢性期ステント血栓症)問題は解消の方向

#### □ 当社製品の技術優位性に変化がないこと

- ▶ PTCAの適用病変(複雑病変、多岐病変、CTO病変など)が拡大方向にあるなか、技術優位性から今後もシェアを拡大
- ▶ アボット社以外の取引は、増加傾向にある

「アボット社以外のPTCAガイドワイヤーの海外売上高」は右グラフ参照  
08/6期アボット社のテリトリー(チェコ・イタリア)拡大につき対象市場縮小



### ■ 当社の取り得る多数の戦略オプションの中から総合的に判断

#### □ アボット社との取引継続 or 販売ルートの変更(アボット社以外の企業と欧米市場での販売契約を締結)のメリット・デメリットを中長期的な視点から判断して対処

#### □ 取引本数の合意と利益補填の実行

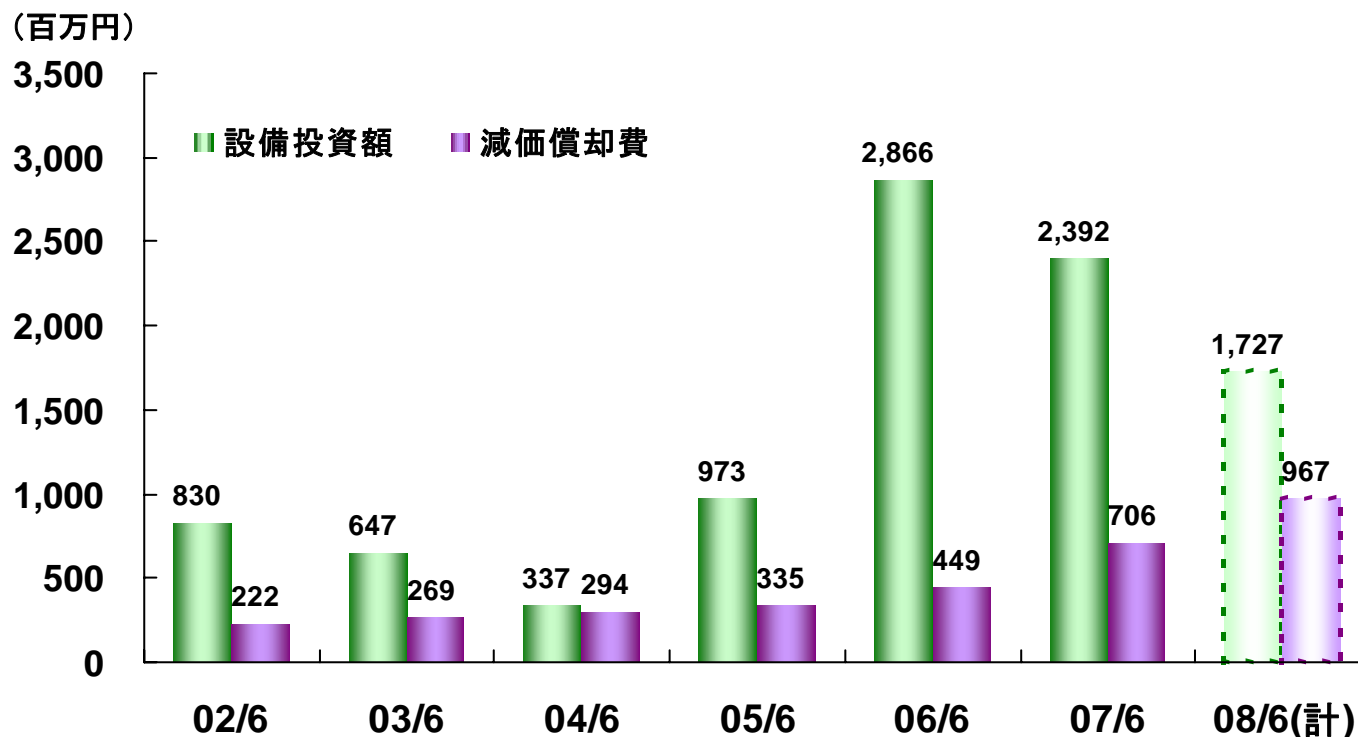
(中期的に当社に有利な契約内容の見直しと引き換えに取引本数の合意 等)



## 中期経営計画の見直しについて

### ■ 現行の中期経営計画について

- アボット社との協議の最終結果(戦略の転換を含む)や、事業環境の変化(PTCA治療件数の動向)を見極めたうえ、09/6期の業績計画の見直しを予定
- 設備投資計画については変更なし





**1. 2008年6月期(中間)決算の概要**

**2. 2008年6月期(通期)業績見通し**

**3. 業績下方修正の要因・背景について**

**ご参考: 会社概要・事業の特徴**



## 会社概要

- 社 名 朝日インテック株式会社
- 本 社 名古屋市 守山区 脇田町 1703番地
- 代 表 者 代表取締役社長 宮田 尚彦
- 設 立 1976年 7月 8日 (現在 第 32 期目)
- 事 業 内 容
  - 医療機器の開発・製造・販売
  - 極細ステンレスワイヤロープ並びに  
端末加工品等の開発・製造・販売
- 資 本 金 4,167百万円 (2007年 12月末)
- 連 結 子 会 社
  - ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.
  - ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.
  - ASAHI INTECC USA, INC.
  - コンパスメッド インテグレーション(株)
  - フィルメック(株)
- 従 業 員 数 331名(単体)、2,136名(連結) (2007年12月末)



# 開発・生産・販売拠点 (日本と海外の住み分け)

- = 工場及び研究開発拠点
- = 研究開発拠点
- = 営業所等
- = 工場
- = 関連会社



タイ: ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.



大阪R&Dセンター

本社

瀬戸工場

東京営業所

EU支店

中国: 香港支店

中国: 東莞工場

米国: ASAHI INTECC USA, INC.

大阪営業所  
名古屋営業所  
フィルメック株

コンパスメッド  
インテグレーション株

シンガポール駐在所

ベトナム: ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.  
(2005年8月法人設立)

日本: 研究開発・試作

海外: 生産拠点

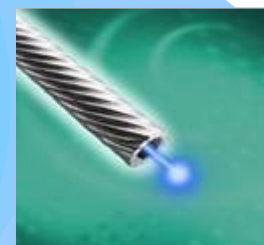


# 当社の事業分野・事業セグメント

## ■ メディカル事業



## 医療機器分野



## 産業機器分野



## ■ インダストリアルデバイス事業

## ■ メディカルデバイス事業



# メディカル事業の主要製品群

## 【循環器治療用デバイス】

PTCAガイドワイヤー

PTCAガイディングカテーテル

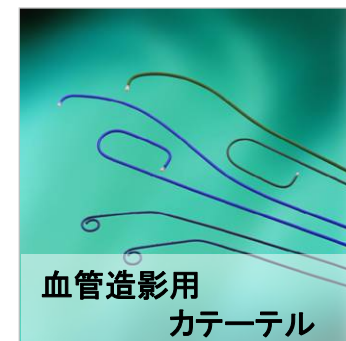
PTCAバルーンカテーテル



## 【循環器診断用デバイス】

血管造影用ガイドワイヤー

血管造影用カテーテル

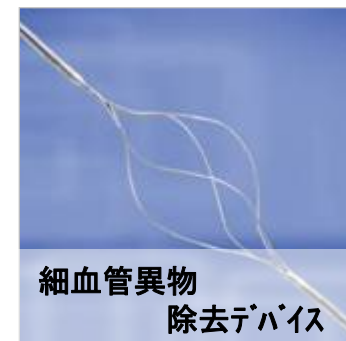


## 【末梢血管・腹部用等(IVR用)デバイス】

マイクロカテーテル

IVRガイドワイヤー

細血管用異物除去デバイス







## 低侵襲治療（PTCA治療）とは

- 患者の精神的・肉体的負担を最小限に抑える為に、開腹・開胸する事無く、太腿や手首の血管を通じて治療を行う。

<外科的治療>

バイパス手術



<内科的治療>

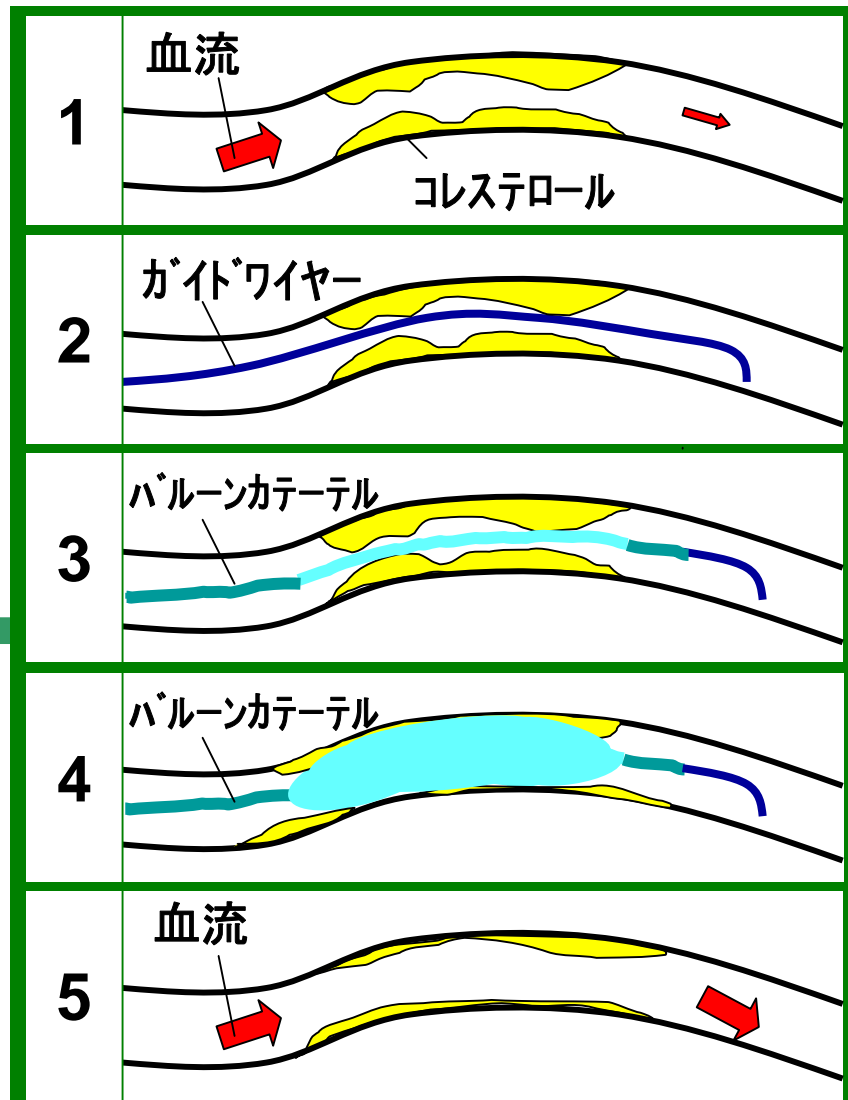
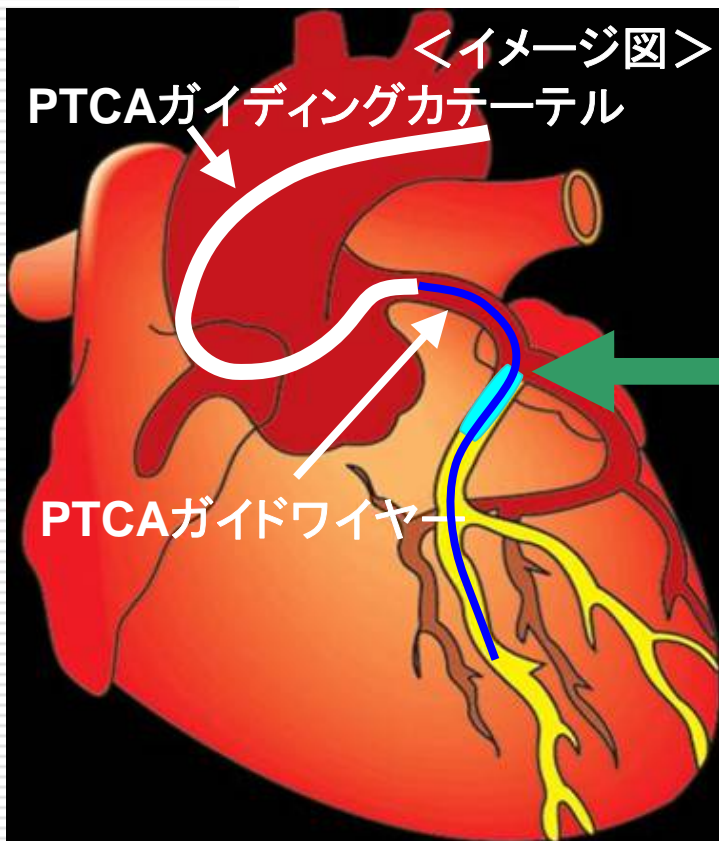
低侵襲治療（PTCA治療）





# PTCA(経皮的冠動脈形成術)とは - 1

- 冠動脈疾患(狭心症・心筋梗塞等)の治療法
- 狭窄部を広げて血流を確保



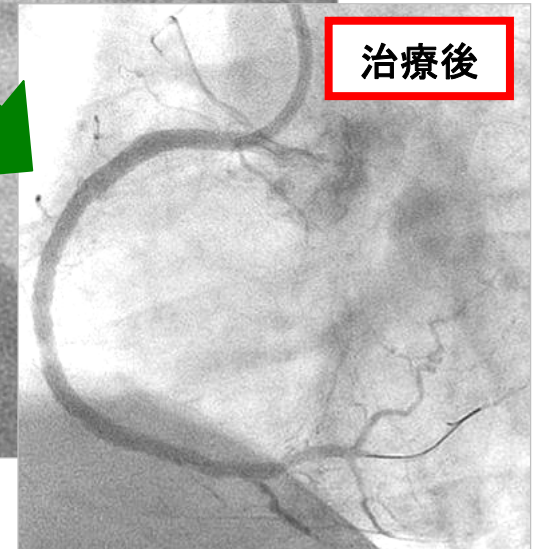
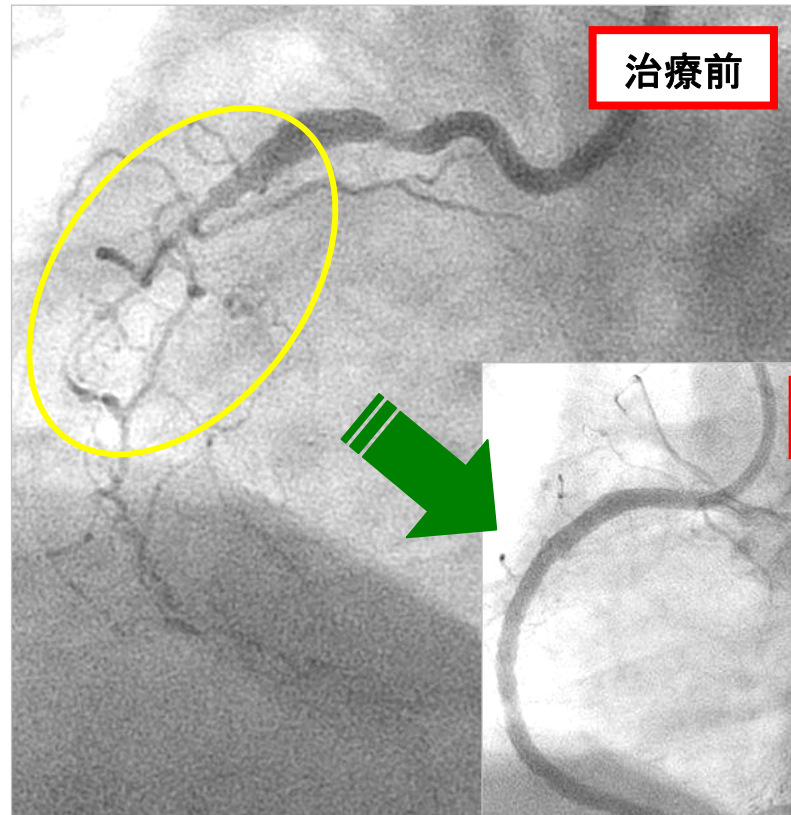


## PTCA(経皮的冠動脈形成術)とは - 2

比較的簡単な病変



難易度の高い病変





# 競争力の源泉：4つのコアテクノロジー

強度・線径コントロール

伸線技術



ミクロンレベルの成形

ワイヤー  
フォーミング  
技術



素材から製品までの  
一貫生産体制

回転追従性

トルク技術



極薄膜コーティング

樹脂  
コーティング  
技術





# 当社PTCAガイドワイヤーの優位性

独自開発の  
ジョイントレス技術  
(特許: 第2981976号)

優れた回転追従性  
(トルク性)

+

先端の柔軟性  
(安全な操作)

## 当社のコイリング



溶接



研磨



細線加工



(プラチナ+ステンレス)コイル

## 他社のコイリング



プラチナコイル ステンレスコイル

ねじ込み



ロー付け



プラチナコイル+ステンレスコイル



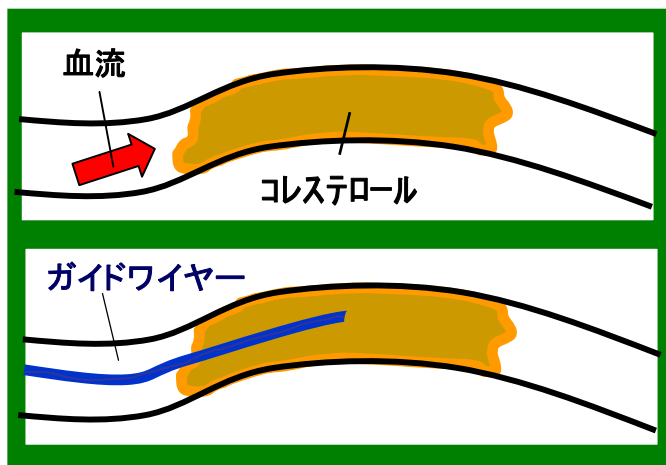
ドクターの「指先の微妙な動き」を「先端に忠実に伝える」ことが可能



# CTO領域におけるPTCA治療の実現

**CTOとは**  
(慢性完全閉塞)

- 石灰化した硬い病変
- 完全に血管が詰まった状態



【心臓疾患レベル】

健常人 → リスク保持者

生活習慣病

潜在患者

心臓血管閉塞

CTO  
(慢性完全閉塞)

従来は外科手術の領域

CTOにも使用可能なPTCAガイドワイヤーを開発



PTCA手法によるCTO治療を飛躍的に拡大



## PTCAガイドワイヤーの欧米市場の販売代理店契約

### ■ アボットラボラトリーズ社との契約推移

- アボット社と米国・欧州における独占販売代理店契約を締結(2003年10月)
  - ▶ 契約期間：2003年10月～ (2年自動更新予定)

- 取引好調により契約期間を大幅に延長(2004年12月)
  - ▶ 契約期間： ～2009年12月

- 市場浸透が予想以上に好調なため米国市場における契約期間を更に延長(2006年5月)
  - ▶ 契約期間： ～2011年12月
  - ▶ 契約内の年間最低取引本数を増加変更(2010年度迄。米国市場シェア約30%確保することを反映)

- 欧州市場においても米国同様に契約期間を延長(2007年2月)
  - ▶ 契約期間： ～2011年12月
  - ▶ 契約内の年間最低取引本数を増加変更(2010年度迄。欧州市場シェア約20%確保することを反映)
  - ▶ 契約対象地域の拡大(イタリア及びチェコの追加)

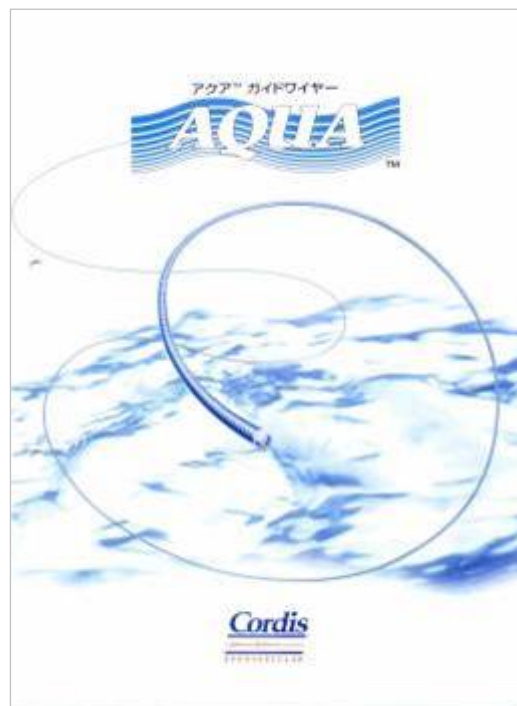


## メディカルデバイス事業の主要製品群

- 内視鏡や処置具に使用されるチューブ、ステンレスロープ、各種ガイドワイヤー等



ケーブルチューブ



透析用・末梢血管用・  
肝臓癌治療用  
ガイドワイヤー



ワイヤーロープ・チューブ  
(使用例: 内視鏡処置具)





# インダストリアルデバイス事業の主要製品群

- 極細ステンレスワイヤーロープ  
(ロープ径2mm以下)の製造・販売
- 使用される市場
  - ロープ……自動車関連、建築関連、漁業関連
  - 端末加工品……OA関連、ベビーカー、機械  
アクセサリ、遊技機
  - チャージワイヤー…… OA関連、空気清浄機
- 業界トップシェアを確立:取引先約800社(約50業種)

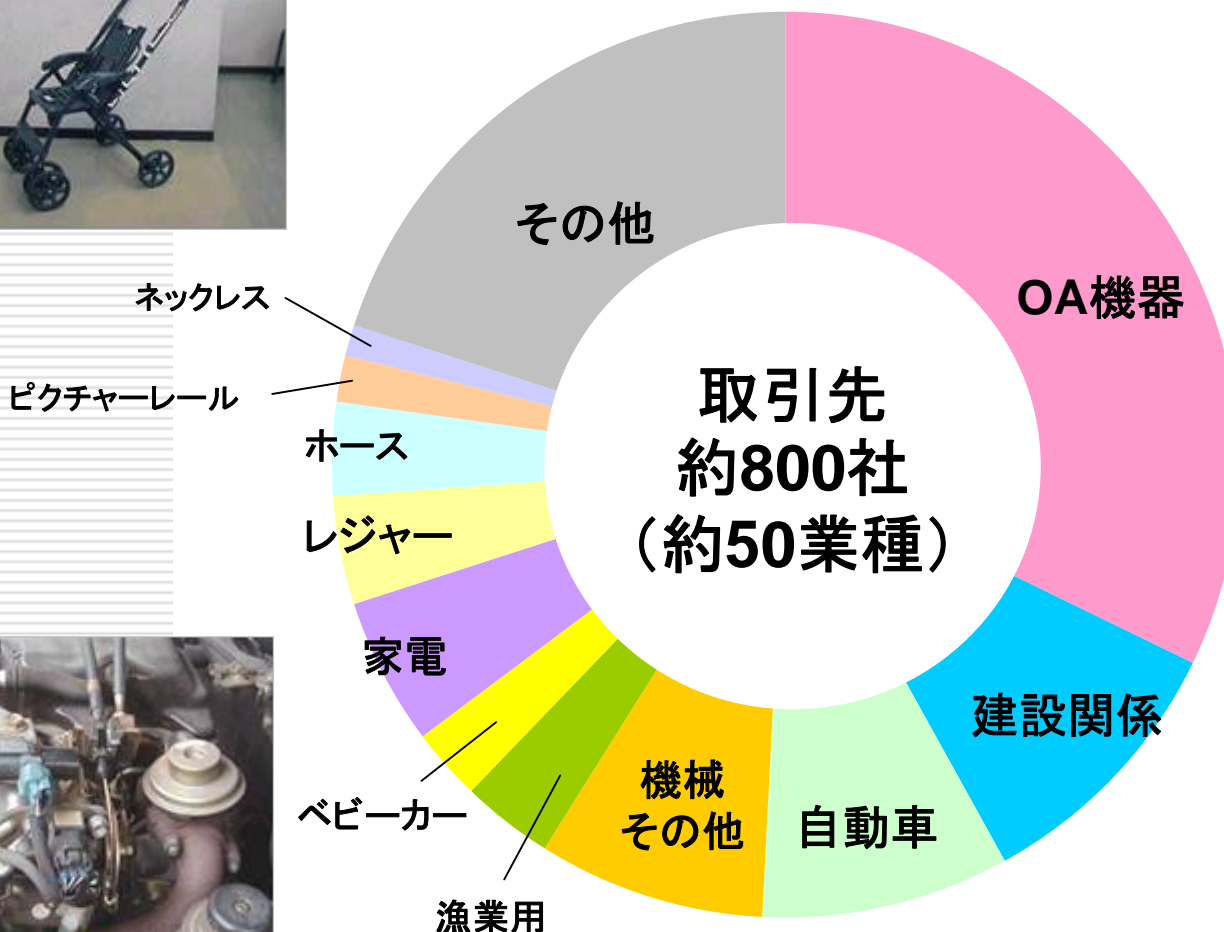


シンクロメッシュロープ  
(使用例:複写機、スキャナー)





# 最先端機器から家庭用品まで幅広い用途



(2007年12月期時点)

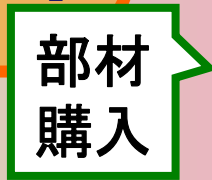


# 医療機器の競争力＝素材を扱う高度な技術

産業機器分野で培われる  
「高度な素材加工技術」



Assembly

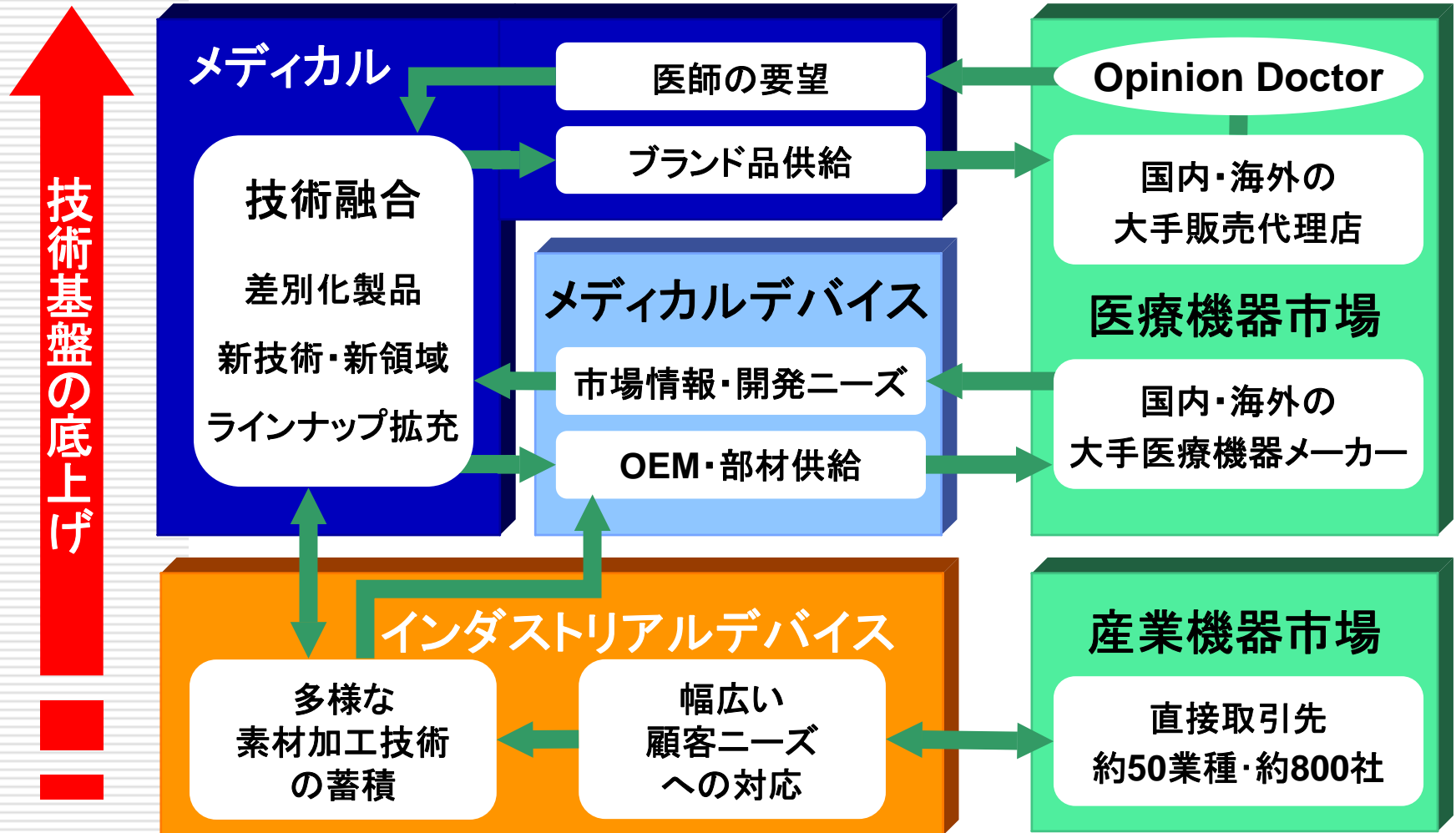


当社

医療機器分野でのユーザーニーズ対応力



# 3セグメント構造のメリット(融合・複合・循環)





## 製品用語解説(メディカル事業)

製品名	製品概要
PTCAガイドワイヤー	PTCA治療の際に、バルーンカテーテル等のインターベンションデバイスを病変部まで先導するワイヤー
PTCAガイドイングカテーテル	PTCA治療の際に、バルーンカテーテル等のインターベンションデバイスを冠動脈の入り口まで先導するチューブ
PTCAバルーンカテーテル	PTCA治療の際に、病変部の血管通路を拡張するためのバルーン(直径1~5mm程度の風船)を先端に装着したカテーテル
IVRガイドワイヤー	腹部等の治療の際に、マイクロカテーテル等のインターベンションデバイスを病変部まで先導するワイヤー
マイクロカテーテル	腹部等の治療の際に、病変部を確認する造影剤を注入したり、(削除:腹部等の治療の際に、)「拡張」「閉塞」「生検」「薬剤注入」などを行うチューブ
オクリュージョンバルーンカテーテル	手術前の閉塞、出血の応急処置における一時的な血管の閉塞用に使用するカテーテル
貫通カテーテル	PTCA治療の際に、バルーンカテーテル等のインターベンションデバイスが通過しないような完全慢性閉塞病変部を貫通する為のカテーテル
ペリフェラルガイドワイヤー	末梢血管治療用のガイドワイヤー
スネア	高周波ポリープ切除用内視鏡処置具
治療用カテーテルシステム	
血管造影用カテーテル	PTCA治療の前に、病変部を確認する造影剤を注入するチューブ
血管造影用ガイドワイヤー	血管造影用カテーテルを先導するためのワイヤー
検査用カテーテルシステム	



## 製品用語解説(メディカルデバイス事業)

製品名	製品概要
線材	内視鏡本体チューブ用ブレード材料
ロープ	内視鏡本体操作ワイヤー、内視鏡処置具操作ワイヤー
コイル	内視鏡本体操作ワイヤーガイドコイル、内視鏡処置具ガイドコイル
ACTONE	中空構造のケーブルチューブ
医療用部材	
スプリングガイドワイヤー	血管系、消化器系カテーテル案内用金属タイプガイドワイヤー
プラスチックガイドワイヤー	血管系、消化器系カテーテル案内用樹脂被覆タイプガイドワイヤー
チューブ	血管造影用カテーテル、細径内視鏡本体チューブ(オリンパス)
IVRガイドワイヤー	肝臓動脈を塞栓または薬液注入するマイクロカテーテルを病変部まで先導するガイドワイヤー
OEM供給品	



## 製品用語解説(インダストリアルデバイス事業)

製品名	製品概要
線材	耐圧ホース用補強材、電線用補強材、液晶フィルム製造治具用
ロープ	鮎つり用ハイテンション極細ロープ、自動車用アクセルロープ、漁業用資材ロープ、建築用(排煙用)ロープ
コイル	基盤検査用プローブ、洗面用排水栓インナーコイル
外注加工品	建築(排煙)用アウター、シャッター用ダイカスト製品、遊技機用樹脂成形品 ロープテンショナー、バーコードリーダー用セラミックローラー、精密ノズル(切削品) 複写機用グリッド(エッチング品)
ワイヤー素材 等	
端末加工品	複写機・スキャナー光学等駆動用、建築用(シャッター用・ピクチャーレールハンガー用等)、落下防止用、ベビーカー用、自動車用トランクオープナー
CW(チャージワイヤー)	複写機・プリンター・ファクシミリ帯電用、空気清浄機集塵用
端末加工品 等	



## 本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

### 【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1211

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>